

2009年度

科目名	生理解剖学B		
担当教員	片山 洋子		
配当	人社1	コード	11360
開期	後期	講時	月曜日1限
		単位数	2
授業テーマ	脳と神経系、呼吸器、循環器、消化器、泌尿器、内分泌や免疫系、感覚器系の生理学について学修する。		
目的と概要	<p>身体の機能を知るためには、構造の理解が必要であり、その相互の関係について講義する。身体の構造と機能はスポーツ指導者や保健体育教員に必須の基礎知識である。スポーツ生理学やスポーツバイオメカニクス、スポーツ生化学などに発展する。</p> <p>前期のみの履修ではなく、A・B両方を学ぶことを勧めたい。前期は骨格の機能解剖と筋の生理学を中心に扱う。後期は脳や神経系、呼吸器、循環器、消化と吸収などについて講義する。</p>		
成績評価法	平常点と試験との総合評価を行う。		
テキスト	新訂 目でみるからだのメカニズム / 塚 章 / 医歯薬出版		
参考書	図解 栄養生理学・生化学 / 片山眞之・片山洋子 / 産業図書		
履修に 当たっての 注意・助言			
講義計画			
<p>後期</p> <p>1:末梢神経 (1)</p> <p>2:末梢神経 (2)</p> <p>3:からだの動きを制御するしくみ</p> <p>4:感覚器を構成する器官 視覚、聴覚、嗅覚から情報を取り入れる</p> <p>5:中間試験 神経系を対象範囲として</p> <p>6:呼吸器系の器官肺の構造としくみ 呼吸運動と調節のメカニズム ガス交換のしくみ</p> <p>7:肺の構造としくみ 呼吸運動と調節のメカニズム ガス交換のしくみ</p> <p>8:循環器系の器官</p> <p>9:心臓の構造 心臓の働き 心臓の働きを調節するしくみ</p> <p>10:血液 成分と働き 血液凝固 生体防御のしくみ 消化器系の器官</p> <p>11:血管の種類と分布</p> <p>12:消化器系の器官</p> <p>13:消化と吸収 肝臓における代謝</p> <p>14:泌尿器のしくみとはたらき</p> <p>15:総括</p>			